

会議録

会議の名称	令和2年度 第6回加西市総合政策審議会
開催日時	令和2年11月5日(木) 午後1時55分～4時20分
開催場所	加西市役所1階多目的ホール
<p>議長の氏名 (会長 杉山 武志)</p> <p>出席及び欠席委員の氏名</p> <p>&lt;出席委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大野 聖佳      ・岡 和司      ・木下 勇      ・久米澤 稔      ・後藤 直樹</li> <li>・杉山 武志      ・谷勝 公代      ・辻田 聡信      ・中野 重美      ・濱本 泰秀</li> <li>・松岡 勝己</li> </ul> <p>&lt;欠席委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上田尾 真      ・岸本 達希      ・高見 千里      ・仁科 崇良</li> </ul>	
<p>傍聴者の人数</p> <p>一般：2名      報道機関：なし</p>	
<p>出席した事務局職員の氏名及びその職名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと創造部長 千石 剛</li> <li>・ふるさと創造部人口増政策課長 藤後 靖</li> <li>・ふるさと創造部人口増政策課課長補佐 後藤 伸嘉</li> <li>・ふるさと創造部人口増政策課係長 森山 俊幸</li> <li>・ふるさと創造部人口増政策課係長 岩野 裕之</li> <li>・ふるさと創造部人口増政策課主事 大西 弘晃</li> <li>・ふるさと創造部人口増政策課まちづくり推進員 小山 映</li> </ul>	
<p>1 議事</p> <p>(1) 第6次加西市総合計画(基本計画)における加西市総合政策審議会等の意見・提案等に対する対応</p> <p>(2) 答申(案)の検討</p> <p>2 会議資料</p> <p>会議次第、出席者名簿、配席図</p> <p>資料1 加西市総合政策審議会の意見・提案等への対応</p> <p>資料2 第6次加西市総合計画(素案)</p> <p>資料3 答申書(案)</p> <p>参考 基本計画案(修正コメント付)</p> <p>3 会議の経過</p> <p>⇒別紙「第6回加西市総合政策審議会の経過」のとおり</p>	

(別紙) 第6回加西市総合政策審議会の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
	<p style="text-align: center;"><b>開 会</b></p> <p><b>1 会長あいさつ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋も深まり、総合計画の方も取りまとめの段階となった。</li> <li>・本日はかなりボリュームのある内容となっているが、皆さんから積極的なご意見を頂戴して、今年度の最終回の12月10日に向かってまとめていきたいのでよろしくお願いする。</li> </ul> <p><b>2 委員等出席者の紹介</b></p> <p><b>3 議事</b></p> <p>(1) 第6次加西市総合計画(基本計画)における加西市総合政策審議会等の意見・提案等に対する対応</p> <p>○基本方針4 (事務局から説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策11のグラフを差し替えているが、このグラフで何が言いたいのか。</li> <li>・市民の地域活動の状況を表している。</li> <li>・このグラフは何を表現しようとしているのか。多い少ないや偏りがあるが、どこを頑張っていけないといけないのかわからない。</li> <li>・他団体との比較を出せばそのような分析もできるが、今回は活動の参加傾向を示すことにとどまっている。</li> <li>・意味があってグラフを記載すると思うが、他に適当なものがなかったということか。</li> <li>・㊸「広報・広聴の充実」の指標がマスメディアの掲載件数となっている。協創のまちづくりということであれば、外向きではなく内向きの広報の充実をするべきではないか。</li> <li>・特に神戸新聞は市民の方が非常によく見ていると思う。市の広報だけでなく、マスメディアを通じた市民への広報も見逃せないと考えている。</li> <li>・これが悪いわけではないが、マスメディアにはこちらの伝えたいことが全て載せてもらえるわけではない。本当の意味で広報充実を図るための指標は、もっと地道なK P Iの方がいいのではないか。</li> <li>・「要望、意見に対する回答について、適切かつ迅速な対応を行います」とあるが、協創の視点からは広聴が本来は大事な部分ではないか。</li> <li>・広聴の面では、市に提案箱やF A X、メールなどでご要望やご意見をいただいている。指標にするには件数があまり多くないし、ご意見・ご要望が多いことは行政が不十分だという話にもなるのではないか。</li> <li>・最近では、クレームだけではなく、お褒めの言葉も含めてご意見・ご要望が増えてくるのは良い企業だというのが定着している。全ての意見を聞く体制があり、市民へのレスポンスが上がっていくのが、広聴であり協創だと思う。</li> <li>・ご検討いただきたい。</li> <li>・市からの発信だけでなく、地域のまちづくり団体や各種団体がやっていることが神戸新聞に掲載されることでシビックプライドが醸成される。神戸新聞の北播版で最近加西市の記事が少ないなどと市民の方からよく言われる。加西市はP Rが下手だと言われるので、K P Iとして挙げた経緯がある。</li> <li>・また、市民団体がそれぞれの団体で行っていることをメディアに取り上げてもらって、成果が見えるということもある。</li> <li>・それであれば、上のシティプロモーションのところがいいと思う。</li> <li>・広報・広聴の充実と考えられるので、㊸に入れている。</li> <li>・委員の皆様は住民としてどう思われているか。</li> <li>・住民としては載せる記事の方向性が気になる。教育やいろいろな部門があるのに、神戸新聞の加西市の記事は、なぜそういう方向性のものばかり載せるのかなど、いろいろな意見がある。</li> <li>・マスメディアの掲載件数はシティプロモーションではないかということで、協創の点からは相談や意見件数がまちづくりの指標には相応しいかもしれない。</li> <li>・より相応しいものを検討する。</li> <li>・74ページのグラフのパーセントは何を表しているのか。</li> <li>・回答数から活動されている方の割合を示している。</li> </ul>
会長	
副会長 事務局 副会長	
事務局	
副会長	
事務局	
副会長	
事務局	
副会長	
会長 事務局	
副会長 事務局 会長 委員	
会長 事務局 委員 事務局	

委員 事務局 会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートを答えた人の中での割合か。</li> <li>・回答者の割合ということが分かるよう表示するようにする。</li> <li>・㉑「シティプロモーションの推進」のAに「子どもたちが」とあるが、いろいろな方々が郷土の豊かな歴史を学び体験するということは大いに考えられるので、子どもに限定する必要はないのではないか。</li> </ul>
委員 副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・79ページの㉒に「ワークライフバランス」とあるが、用語集では「ワーク・ライフ・バランス」となっているので統一してほしい。一般的には「・」がいると思う。</li> <li>・77ページの㉓「男女共同参画の推進」で、「女性が自分らしく活躍できる」とあるが、女性だけではないと思う。</li> <li>・男女共同参画のK P I でイベントの参加者数とあるが、市役所の女性管理職数や、会議所も調査に協力するので市内企業の女性管理職数などにした方がK P I として適切だと思う。</li> <li>・79ページの㉔の指標が「ICTを活用した遠隔業務の実施数」となっているが、民間業者ではコロナの影響もあり、在宅ワークやテレワークの目標割合を決めて動いている状況であり、デジタル技術の活用という方針ならもっと強く示すべきではないか。</li> <li>・㉕広域連携のK P I も協定締結数ではなく、締結した団体との事業実施数などにしたい。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確かに連携は継続性が大切なので、指標を事業数で考えていくのは重要かもしれない。ハードルは上がると思われるが。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・77ページの「市民ができること」の欄に「外国人住民と積極的に関わりを持つ」とあるが、市民アンケートで外国人と関わりを持ちたくないという意見が多かった中で、「積極的に関わりを持つ」と記載するのは少し強引ではないかと思われ、「積極的に挨拶する」などの表記がよい。</li> <li>・「団体・事業者ができること」に「職場環境づくりに取り組む」と加えたのは、男女共同参画にも関係するし、多文化共生の外国人のための職場環境づくりも大切なので、よいと思う。「外国人労働者の、地域への理解と交流を進める取り組みをする」とあるが、外国人労働者だけが地域に馴染み、理解する努力をするのではなく、日本人社員も異文化理解促進に努める必要がある。</li> <li>・まちづくりの指標に全ての内容を反映するのは難しい。市民ができることと団体・事業者ができることも含めて、まちづくりの指標に連動するとよいと前に発言したが、1つ選ぶのは難しい。例として1つ指標をあげる形ぐらいにしてはどうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、総合政策審議会で評価検証していく中で、施策毎にK P I で評価していただけるよう、一番相応しいと思われるK P I を施策ごとに設けるとともに、さらに細かく事業毎のK P I を設定することを考えている。これまでのように事業毎のK P I だけから評価するのは難しいということで、今回、政策単位から施策単位に分けたものである。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表を記載するということか。このK P I が本当に相応しいのかという意見が出るので、もっとざっくりさせた方がよいかもしれない。</li> </ul>
副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価の仕方がまだ決まっていない。K P I をつくったら、当然○×がつく。それが即、評価になるのか、最終的にそれを踏まえて政策上の評価を別にするのも、議論しなくてはいけない。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・案としては、アイウ毎に評価シートを作成し、それぞれK P I を設定して、その評価によって施策毎に評価し、さらに政策の評価へと、下から評価を積み上げる形にしようと思っている。</li> <li>・新しい計画に基づいた評価の方法は、これからの議論である。今年度の審議会2回目、3回目で昨年度の事業評価をしていただいたが、まず事業内容について聞いていただき、その上で数値の評価も見た上で最終的に総合評価していただいた。施策の評価は定性的、定量的な評価があると思うが、複合化して、最終的に委員の合議で、恐らく5段階の評価をいただくことになると思う。</li> <li>・数値目標は欠かせない要素なので、施策単位で極力分かりやすいものを加えていきたい。全てK P I で定量的に評価するというだけでなく、施策の定性的な評価、取り組み内容も含めて評価いただきたい。</li> </ul>
副会長 会長 事務局 会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイウ毎にK P I をつくっていくということか。</li> <li>・総合計画に指標の掲載だけでいいのか。前の総合計画の記載内容を確認したい。</li> <li>・政策単位だと難しいとの意見を聞いている。</li> <li>・最終的に評価を上げたり下げたりの調整という話が出てくるなら、ざっくりさせた方がよいのではないか。前回案で提示されたような形にした方が無難ではないか。最終的には全部にK P I が設定されることになる。</li> </ul>
副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部評価の目標としてそれぞれK P I を立てるのはいいが、この総合計画冊子に載せると市民に宣言することになる。全部公表したら分からなくなってしまうので、代表的な事例で、市民に進捗度を報告するのが本来の姿である。きちんとした数字が取れて代</li> </ul>

会長 事務局 副会長 事務局	<p>表的なものをキーパフォーマンスとして公開すればいい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最終的には全部オープンになるのではないかな。</li> <li>・最終的にはそうである。</li> <li>・全部が出ていても分からないので、多くても1政策に3つくらいだと思ふ。</li> <li>・昨年度までの行財政改革プランでは、196事業それぞれを評価していただいたものを、30の施策にまとめた。今回は38の施策に112の事業があるので、評価する事業数は半分くらいになると思うが、どこまで端的に表せるかが難しい。1つの政策に1つのKPIでは難しいという話があったので、今回このような案にしている。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・審議会のデッドラインが12月10日に決まっている。今日の会議で、新しい指標の詳細の中で締結した団体数等の話も出たが、この総合計画の発信の中で、それがどの程度重要なのか。答申としては計画をまず示し、KPIの記載は最小限でいいのではないかな。全て情報公開される中で、市民の目にもKPIは止まるようになる。この計画ではあくまで目標を定めることに重点を置くので、前回案の大ぐりの目標でもいいのではないかな。プロジェクトチーム会議の意見なので、今の内容でももちろんいいが、前回の審議会ですされた内容から随分変わっているので議論が終わらない。</li> <li>・今お示しいただいている内容でひとまず議論を進めてはどうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議論を進めていただき、他の基本方針のまちづくり指標についてもいろいろなご意見をお願いしたい。</li> </ul>
副会長	<p>○基本方針1 (事務局から説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・59ページ、⑧「芸術・スポーツの振興」のエで、「加西能をはじめとした市独自の活動の促進」とあるが、加西能以外に何があるのか。</li> </ul>
会長 委員 会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特にないようであれば書かないほうがいい気がする。</li> <li>・高齢者福祉のKPIは要介護認定率となっているが、どうかと思う。</li> <li>・そういう話になってくるので、政策全体としてのざっくりしたKPIを書いておいて、総合計画には指標を用いるということは何となくにおわせておく位でいいと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皆さんには、部会に分かれてABC等の評価を付けていただいた。評価検証の際にそれぞれのKPIは分かったが、それが施策全体としてどうなのかというのが分かりづらいというご意見を頂いていた。評価検証時にKPIがなくても評価できるか気になる。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価検証の際に分かっていけばいいことで、要は総合計画のまとめの冊子に、施策単位のKPI情報が本当に必要かどうかである。</li> </ul>
事務局 会長 副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画に掲載するかどうかと、各施策のKPIをどうするかを検討したい。</li> <li>・指標は総合計画に掲載する方向でのご意見を頂戴している。</li> <li>・施策毎に全部1個ずつ付けようと無理やり出すからややこしくなる。全体を網羅できるようなKPIがあるのであれば載せたらいい。</li> </ul>
事務局 副会長 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画に載せないにしても、評価検証の時には施策毎にKPIがあるのがよい。</li> <li>・今検討すべきかは別として、KPI自体が適切かどうかの評価もしないといけない。</li> <li>・KPIそのものを見直す必要があるのではないかな。ICTを活用した遠隔業務とあるが、遠隔業務だけがICTではなく、もっとAIを使った業務改善があるはずである。これを見るとリモートしなくてはならないように見え、見直しが必要ではないかな。</li> </ul>
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前提として、指標は毎年取れる数字でないと評価が難しい。</li> <li>・見る人にこの内容でいいのかと思われるのと、中身が全部薄れてしまう。それなら評価しない方がいい。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今のご意見も含めて、12月の答申に間に合うかという議論もあるので、次回の委員会で最終確認を行うのがいいのではないかな。</li> <li>・一つ一つの検討になってくると、ここで表現するのが正しいかどうかになる。今日の会議の位置付けは、これでいくという最終確認をして、次回につなげるということだと思う。前回からこれだけ体裁を変えた中で、一つ一つのKPIについて検討すると時間が足りない。取りあえず、今の変更案の内容で進める。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KPIの設定単位について、前回までと同じ政策単位ということで、見開き1ページ単位に1つをパフォーマンス的に掲げる方法を再提案いただいた。政策単位でも施策毎の単位でも、全てを反映することは難しいと皆さんもご認識いただいていると思う。来年度以降、評価の時にはできるだけ個別の事業単位で目標値を掲げて、達成度合いをお示しした上で評価してもらいたいと思うが、それらがアイウ、施策単位、政策単位でまとまっていく中の、結局KPIは評価の一つの数字として、取り組み全体の総合的評価をお願いすることになると思う。どの単位でも、ぴったりマッチするものはほぼないので、代表的な指標として順当なものを示すことにいづれなると思う。どういったレベルでKPIを設けて、総合計画に掲げないまでも、評価の際には具体の数値を求めるといった体系を議論していただけないかな。次回が検討会議になることはやむを得ない</li> </ul>

副会長 事務局	<p>と思いながら、さすがにスケジュール的に厳しい。レベル、単位について審議会としてお願いしたいという意見をいただければ、それに応じて再考できる。何を掲げ、何を示すかが曖昧なままで次回を迎えても、今日と変わらないことになりかねないので、是非、お示しいただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイウのK P Iは決定なのか。</li> <li>・上位の基本計画の内容が決まり次第、その内容に沿った実施計画として決めていくこととしている。</li> </ul>
副会長 事務局 副会長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイウを全部つくるなら、政策単位で1個、漠とした数値が入ったものを指標にするのがよい。前回案から1つについて、いろいろな意見から選ぶしかないのではないかと。</li> <li>・政策単位の代表選手ということか。</li> <li>・そうである。</li> <li>・今回、施策単位の指標の中の1つは、前回お示しした政策単位の指標になっていたものが多い。施策単位のK P Iという方向で提案したが、結果として、審議会としてはどちらがより適切かご意見を今日いただきたい。</li> </ul>
会長 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今、事務局から提案のあった内容についてご意見を頂戴したい。</li> <li>・どういうことをまちづくりの指標にしたらいいのかよく分からないが、前回案のようなまとまりがよいと思う。審議会で共通するものを考えるのも大事だが、市民としては、市民、団体・事業者みんなが協力してできるまちづくりの指標というのが一番よいのではないかと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マッチする指標は難しい。個別の指標だけで反映するのが難しいものについては、いくつかまとめて対応してもいいのではないかと。</li> </ul>
委員 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的にしたらいい。アイウにそれぞれ指標があるのであれば、評価はできる。</li> <li>・施策毎のK P Iになっているが、1対1では違和感があるので、政策毎にアイウからまとめていくはどうか。</li> </ul>
副会長 委員 委員 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ意見である。</li> <li>・政策単位の一つでよいと思う。</li> <li>・あまり細かくするのはよくない。</li> <li>・基本計画は市民がどう見るかが大事なので、導入として興味を持ってもらう目的もあるとすると、前回の案の方が分かりやすい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価には役に立つと思うが、1つ1つに対する注釈が多過ぎると、市民が全部読むのは難しい。矛盾するところも出てくるので、前回のレベルぐらいであまり詳しくせずに、市民や事業者ができることを強調してはどうか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重要業績評価指標なので、全体としてどうなったかを示すだけでいいのではないかと。大きな政策単位の項目でわかるとよい。</li> </ul>
副会長 会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすくすることが一番だと思う。評価の方はまた吟味しなくてはいけない。</li> <li>・いろいろな意見があったが、分かりやすく全体を伝える指標がいいということだと思う。評価はしないといけませんが、数字も変わる可能性があり、それは実施計画ではないのではないかというご意見が多かった。施策と指標の1対1では難しいという意見もあったので、前回の形が無難ではないかというのがこの会議全体としての意見だと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イメージとしては見開きの政策単位で、ケースに応じては複数でもいいということか。施策単位でのK P Iは計画では表現しなくてもいいので、今後の評価の段階で施策若しくはアイウで実績を示すような目標数値があれば書くということでもいいか。</li> </ul>
副会長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価できる指標があれば、それでいい。</li> <li>・また協議させていただきたい。</li> </ul>
委員	<p>○基本方針2 (事務局から説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加西市の田舎では農業問題が一番大きい。もう少し施策を打ち出すべきではないか。後継者対策に対して何らかの強力な施策が必要ではないか。農業施策は加西だけではないと思うが、県や国からもあまり出てこない。国の方向はまだ見えていないのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今やっている施策が正しいかはさておき、担い手が減少しているので、基本的に個人経営であろうと団体経営であろうと集団化させて耕作面積を増やすのが国の方針である。</li> </ul>
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国として将来ビジョンが出ているなら、それを補完する施策を市や県が考えられる。</li> <li>・具体施策は実施計画で見えてくると思う。そういう方向性なので、設備投資補助、あるいは農地の集団化、担い手の拡大などに市としては取り組んでいる。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・65ページ、「未来の加西の姿」で「働きたいと感じられるまちを目指します」とあるが「思ってもらえる」など、文言を検討してほしい。</li> </ul>
副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・67ページに「残存定住率」とあるが、分母と分子を記載してほしい。</li> </ul>

副会長	<p>○基本方針3 (事務局から説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・70ページに「ごみ排出量と一人あたりの排出量」のグラフがあるが、全国平均との比較が分かれば書いてほしい。</li> <li>・防犯カメラの設置を強調してほしい。先日の話では市は十分と思っているようだが、全然足りていない。</li> <li>・安全性と利便性について市民ができることに、「公共交通の利用に努める」とあるが、公共交通機関だけでは生活できない。書き方を工夫してほしい。</li> <li>・「できるだけ」を前に追加することが考えられる。</li> <li>・「北条鉄道の経営支援と利用促進策」とあるが、どれだけ赤字になってもやるということか。</li> <li>・北条鉄道に限らず全て公共交通は赤字が前提で、路線バスにも赤字補助を出している。</li> <li>・住宅地が将来ゼロになっても支援するののかという話になる。含みを持たせた方がいいのではないか。</li> <li>・検討する。</li> <li>・北条鉄道と限定した記述にしなくてもいいのではないか。</li> <li>・採算の取れないところは便数を減らしているのではないか。</li> <li>・バス会社の判断だが、今はどちらかという運転手不足などの問題があるようだ。</li> <li>・乗っていただかないと便数が減ってしまうということである。</li> <li>・73ページの上下水道の整備について、下水処理の普及率は市全体で今何パーセントか。</li> <li>・水洗化率ということか。恐らく99%以上だと思う。</li> <li>・世界首長誓約への署名は記載するのか。</li> <li>・世界首長誓約に基づく事業計画を立てて、実施計画を今つくっている。それに基づく取り組みが、今後、実施計画に上がってくると思う。</li> <li>・あえて言うと71ページの㊸アに含まれている。</li> <li>・70ページの一番下に「市民の声から」に、「行政が地域を支援し、地域が環境を維持する」とある。市民の声に対し行政はどう考えているのか。維持を地域に任せるということか。</li> <li>・ワークショップかアンケートの中でご意見があった。行政が地域を支援するということは、施策26のイに当たると思うが、具体的にどの施策とは表現しにくい。</li> <li>・ここに市民の声を載せるということは、意見に対してどう展開をするというつながりがあるはずなので、市民が主体となって守らせるという市の姿勢なのかということをおっしゃっている。</li> <li>・一つの事例として、例えば網引湿原の保存会の方々に市が支援して、皆さんでやっていたということも含まれていると思う。行政が環境を守るところもあるが、地域のそれぞれの自然について、行政の支援の下で地域の方々に守ってほしいという意味だ。</li> <li>・それなら原文どおり書かなくてはいけない。「地域が環境を維持する努力をして、それを行政が支援する」という書き方でなくてはいけない。</li> <li>・市民の意見としてはそのまま記載している。</li> </ul> <p>(2) 答申(案)の検討 (事務局から説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4つの項目内容はこれでいいと思う。</li> <li>・総合計画案の4ページに策定の体制イメージがある。意見が市民から出て、検討して、庁内で計画して審議会が諮問を受ける形になっているが、本来は審議会が策定段階から関わっていくのが筋だと思う。次回からは当初段階から関わるように記載してほしい。</li> <li>・最初に元気なまちづくり市民会議があって、バトンタッチする形で総合政策審議会になった。もう一段階前からというのは当初からおっしゃっていた話だが、次の中間見直しや次期総合計画をつくる時には最初から関わっていただくことになる。ご意見としては頂戴するが、答申文に入れ込むのは少し違うと思われる。</li> <li>・前回の後期計画の答申文では審議期間が短いという付帯意見を入れたが、今回反映されなかった。きっちり書く必要はないかもしれないが、記載すべきだと思う。</li> <li>・前回は2回で中間見直しが終わっているが、今回は正味は3回とした。もう1つの前から総合政策審議会を立ち上げるべきではないかというご指摘については反省しかない。</li> <li>・これまでの流れからいくと、次回の12月10日をもって答申を頂く方向で考えていたが、今日の審議内容を受けて、12月10日は改めて見直したものをお示しすることとし、答申は別日程とすることも検討したい。</li> <li>・答申そのものはセレモニー的などところもあるので、皆さんがいる方が望ましいとは思いますが、別途答申とさせていただくことを視野に入れたい。</li> </ul>
事務局 委員	
事務局 委員	
事務局 副会長 委員 事務局	
委員 事務局 委員 事務局	
委員	
事務局	
副会長	
事務局	
副会長	
事務局	
副会長	
事務局	

<p>委員 会長 事務局 会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業という表現を商工業にしたり農業にしたりしている。協創、健幸などの表記は目立つように表記するなどの配慮が必要ではないか。</li> <li>・総合計画（素案）で「協創」を目標に掲げている36、37ページ辺りとの整合をよく図っておいてほしい。</li> <li>・産業、商工業の用語については、基本計画の中で農業と産業という表現になっていたのを、農業と商工業に分けるべきだというご指摘があったが、答申文については農業も含めて産業という表現でいかがか。</li> <li>・他に何かあれば事務局にお願いする。</li> </ul>
<p>副会長</p>	<p style="text-align: center;"><b>閉 会</b></p> <p>&lt;副会長あいさつ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日は実質的に最後の会議となり、様々な意見が多く出たことにお礼申し上げます。</li> <li>・総合計画は今後の加西市を大きく方向づけるものであり、議論する中でいろいろ再発見をされた部分があったように思う。</li> <li>・計画が単なる作り話とならないよう、しっかり評価検証しながら進めていくことが大事なので、今後とも引き続き委員の皆様の皆様のご尽力をお願い申し上げます。</li> </ul>